

# みやけの風

## 第 131 号

平成15年(2003年)7月5日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

7月になりました。梅雨時でもあるし、今年は台風も多そうなので滞在型帰島や日帰り帰島を申し込まれた方は天気が気になるころですね。食欲が落ちたり、体調を崩しやすい季節でもあるので気をつけて暮らしたいものです。

季節季節に島を思い起こしますが、なんといっても夏は最高でした。真っ黒になって毎日のように泳いでいた元気な子供たちを思い出します。みんなどうしているだろうか。かなわぬことではあるけれど島の海で泳がせてあげたいと切に思います。

### みんなの声

#### 『リスク・コミュニケーション』

避難生活も3年目を迎え、精神的にも経済的にも、大変苦しくなってきました。

そんな中先日、夜間にもかかわらず、慶応大学の医学部の先生と村役場の担当の方が、わざわざアパートまで出向いてくださり、『火山ガスの健康影響に関する説明会』を開いてくださいました。高齢者の方にも解りやすく、優しく教えてくださいました。日本中にも世界中でも類のない『二酸化硫黄ガス』がどんなものなのか解らずに、不安ばかりが大きくふくらんでいましたが、すぐ命にかかわる事はないというので、ほっとしました。しかし、乳幼児や高齢者、持病を持っている弱者には健康管理がむずかしいという事も解りました。私たちも話を聞いて、とてもよかったと思っています。役場に申し込めば来て下さると言うことなので、皆さんも問い合わせてみてはいかがでしょうか。

「帰りたい！」という気持ちは100%だれでも持っていると思います。前日25、26日に一時帰宅をしました。天気に恵まれて、窓を開け放ち、避難して以来初めて島に帰った主人は、部屋の真ん中に大の字にひっくり返り、初夏の吹く風と鳥のさえずりと、緑の木々を満喫しておりました。

「島にこのまま残ってしまおうかなー」

などと言いながら、でも、帰りの三池港では、山からガスが降りてきて、主人は気持ちが悪くなってしまいました。

帰りたいけど現実問題として帰れないこのせつなさ。

あの、青い海、青い空、木々の緑・・・。

皆さん、体に気をつけて頑張りましょう。またお会いできる日を楽しみにしています。

(港区港南 津村さく江)

### 出会いの会

避難生活が長期化すると聞き、三宅島でいたときのように「歌い、踊り、語らう」ことがしたいなど、平成13年4月1日に始めた『出会いの会』は、今年5月15日で終わりました。

4月から三宅島特別養護老人ホーム『あじさいの里』の運営する『三宅村高齢者支援センター南大沢事業所』が南大沢駅近くのパオレ10階に開設されましたので、それからはそこへ仲間入りしています。(いろいろな作品作り、ミニ懇談会、健康教室、介護教室などがあり楽しいです。)

『出会いの会』は、三宅島の人たちとの出合いを願って始めたのですが、意外や意外、八王子市民の方たちとの出合いが多くありました。これまでに、

南大沢の保健福祉センターでの舞台発表会の仲間入り

## 三宅島支援東京センターの連休

再来週 7月19日(土)から21日(月)まで、勝手ながら支援センターはお休みをいただきます。19日のみやけの風133号はいつもどおりお送りしますが、お問合せ等は週明け22日(火)以降にお願いいたします。

14地区ボランティアさんたちとの交流  
花乃実会(日本舞踊の会?)など、多くの  
方たちと出会い、あじさい音頭、島尽く  
し、若やか体操等を紹介し、共に歌い踊  
りました。

八王子の太陽踊りや新八王子音頭も覚え  
ました

このように多くの方に支えられ、励まされ  
ていた出会いの会でした。お世話になっ  
た方たちに対し、感謝の思いを深くしてい  
ます。  
(八王子市上柚木 鈴木則子)

『出会いの会』本当にお疲れ様でした。2  
年前、南大沢福祉センターへお邪魔したこ  
とが、ついこの間のような、ずいぶん前  
のことだったような複雑な思いで思い出され  
ます。その時参加していた方たちは、本当  
に生き生きと島の言葉で語り合い、思う存  
分『島節』を歌っておられました。島では  
のどが自慢だった方も、「今日は避難して  
初めて歌ったよ」とうれしそうにしておら  
れました。これからも、皆さんで仲良く避  
難生活を乗り切っていられることを心より  
祈っております。(『みやけの風』編集担当)

### がんばれ！三宅高校野球部！

いよいよ、夏本番！高校野球の季節です。

今年の三宅高校は、東東京予選第1戦を都立国際高校と交えます。7月18日金曜日、  
13:00プレイボール。場所は、駒沢都営駒沢球場です。三校生の晴れ姿、お誘い合わ  
せて応援に行きませんか？

内容：第85回高校野球選手権大会 東東京大会予選 都立三宅高校VS都立国際高校

日時：7月18日(金) 13:00 開始

場所：都営駒沢球場

(東急田園都市線 駒沢大学駅下車徒歩15分 / 渋谷からバス 駒沢折返所前下車)

### 夏だ！ サマーがわり！ '2003夏！体験ボランティア' 参加者募集！

東京ボランティア・市民活動センターでは、毎年、都内のボランティアセンター等と  
連携し、関係機関・団体・企業等のご支援をいただきながら、「夏！体験ボランティア  
事業」を実施してきています。

『夏！体験ボランティア』は、いままでボランティア活動に興味がありながら、なか  
なか機会の無かったみなさんに、夏休みを利用して実際にボランティア活動を体験して  
もらおうという企画です。また、ボランティア活動の経験がある人も、様々な分野の活  
動プログラムがありますので、これまでとは違った新しい体験をするチャンスです。三  
宅島の方々も、この機会に新たな出会いとしてのボランティアに挑戦して、この夏休み  
を思い出深いものにして見てはいかがでしょうか？

#### どんな活動プログラムがあるの？

高齢者関係、障害児・者関係、児童関係、医療保健関係、国際関係、環境保護その他  
老人ホームなど施設でのお手伝いや話し相手、障害者施設での日常生活のお手伝  
い、障害児とのふれあいキャンプ、保育園や児童館でのお手伝い、病院ボランティ  
ア、海外支援・国際交流団体のお手伝い、公園・河川・森林の保護活動などなど

#### どんな人が参加できるの？

都内に在住・在学・在勤でボランティア活動を体験したいと思っている方どなたでも

#### 活動期間は？

2003年7月から8月を中心とする数日程度(活動によっては、その後の継続も可能)

#### 盛りだくさんの活動プログラムが載っている

『2003夏！体験ボランティア活動先一覧』はどうすれば見られるの？

各地のボランティアセンターや東京ボランティア・市民活動センター  
(飯田橋セントラルプラザ10F)で閲覧、または購入できます。

#### お問合せ先は？

東京ボランティア・市民活動センター

TEL：03-3235-1171 夏ボラ担当：内田・佐竹

